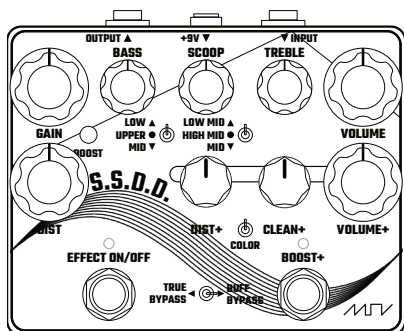
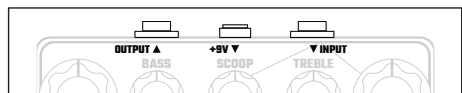


MST S.S.D.D. Instructions

S.S.D.D.はエレキギターおよびエレキベース向けに設計されたプリアンプ・歪みエフェクターです。さまざまな歪みを生み出せるプリアンプセクションと3バンドのイコライザー、そして追加で歪みを加えるブーストセクションで構成されています。



入出力/電源ジャック



「+9V」端子が電源入力、「INPUT」端子が信号入力、「OUTPUT」端子が信号出力です。電源入力端子はエフェクターで一般的な外形5.5mm/内径2.1mmのジャックを使用しています。センターマイナスタイプのACアダプタやパワーサプライをご使用ください。

ご使用上のご注意

・定格電源電圧は9Vですが、設計上は9Vをある程度超えた電圧を加えても正常に動作します。(約9.6Vの電源電圧で問題なく動作することを確認しています)。ただし、それ以上の電圧での動作検証は行っていないので、出力電圧が高い電源を使用する際はご注意ください。特に、15Vを超える電圧を加えた場合、製品寿命が短くなったり、故障が発生する恐れがあります。

・バッファードバイパス時は電源が供給されていないとエフェクトオフの場合でも信号が出力されません。

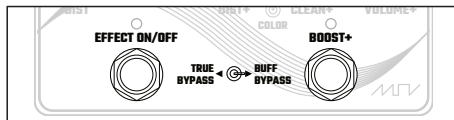
・「GAIN」と「DIST+」や「CLEAN+」、「TREBLE」を最大に設定した状態で「BOOST+」をオンにすると、フィードバックによる発振が発生しやすくなります。

ヒント&TIPS

・本機のBASS・SCOOP・TREBLEノブは、いずれも反時計回りに回しきった状態でフラットになります。そのため、ベースで使用する場合は反時計回りに回しきった状態から様子を見ながら調整することをおすすめします。いっぽう、ギターで使用する場合はすべてのノブを12時の方向に設定した状態から調整することをおすすめします。

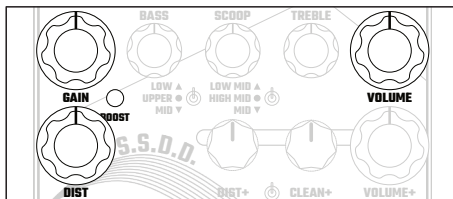
・DIST+ノブとCLEAN+ノブはそれぞれダイオードクリッピング信号とクリーン信号をミックスするような動作になります。そのため、CLEAN+ノブを時計回りに回しきった状態では、ダイオードクリッピング歪みが効きにくなります。

オン/オフ切り替えスイッチ



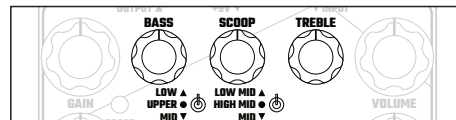
「EFFECT ON/OFF」スイッチでエフェクトのオン/オフを切り替えられます。また、「TRUE BYPASS/BUFF BYPASS」スイッチではエフェクトオフ時のバッファ有無を切り替えられます。「TRUE BYPASS」側に設定するとトゥルーバイパス、「BUFF BYPASS」側に設定するとバッファードバイパスになります。「BOOST+」スイッチでは内部に組み込まれたブースターのオン/オフを切り替えられます。

プリアンプセクション



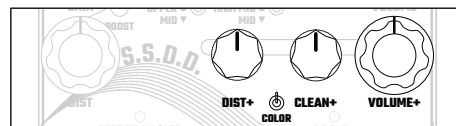
「GAIN」ノブおよび「DIST」ノブで歪みの強さをコントロールできます。GAINノブでは入力信号の強さに応じて緩やかに変化するアンプ風の歪みが、DISTノブではディストーションエフェクターなどで使われているダイオードクリッピングによる歪みが信号に加わります。最終的な出力レベルは「VOLUME」ノブで調整できます。また、「BOOST」ボタンを押すと出力が約+6dBブーストされ歪みも増えますが、一方でフィードバックなどによるハウリングが発生しやすくなります。

イコライザーセクション



「BASS」「TREBLE」ノブはそれぞれ低音域と高音域を調整するもので、時計回り方向に回すほどそれぞれの成分がより強調されるようになります。「SCOOP」ノブは低音域～中音域をカットするためのノブで、時計回り方向に回すほど大きくこの音域がカットされます。「BASS」および「TREBLE」が対象とする周波数帯は各ノブの下にあるトグルスイッチで調整できます。

BOOST+セクション



BOOST+スイッチをオンにすると、プリアンプの前段に接続されているバッファ回路がブースターとして動作するようになり、内部ゲインが上がってより強い歪みを加えることができます。この状態では「DIST」ノブはバイパス(無視)されるようになり、代わりに「DIST+」ノブでダイオードクリッピング歪みの強さを、「COLOR」スイッチで歪みのタイプを調整できます。また、「CLEAN+」では追加のゲイン量を調整できます。この状態での出力レベルは「VOLUME」ノブとは別に、「VOLUME+」ノブで独立して調節できます。

ご購入ありがとうございます

一般的な使用の範囲内での使用において故障等が発生した場合、購入後1年間は無償で修理等の対応をさせていただきます。初期不良などがありましてご連絡ください。

購入履歴は機器内部の基板に記載したシリアルナンバーで管理しております。修理等の対応時にシリアルナンバーが確認できない場合、対応をお断りする場合がありますのでご注意ください。

なお、ハンドメイド品のため、実用上問題ない細かい傷などがある場合があります。申し訳ありませんが、そちらについては初期不良・修理等の対象外とさせていただきます。

そのほか、不明点やお問い合わせなどありましたらお手数ですがBoothのメッセージやXのDMなどでご連絡ください。

Booth: <https://mesotokyo.booth.pm/>

QRコード:



MST/mesotokyo

公式Webサイト:
<https://meso.tokyo/>

最新情報や製品情報、より詳しい技術情報はMST/mesotokyo 公式 Webサイトで公開しています。

QRコード:

